

# データ プロジェクター

## 取扱説明書

VPL-CX236/CX276

VPL-CW256/CW276

機種の中には、国・地域によって販売されていないものがあります。  
ソニーの相談窓口に確認してください。

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、

火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と付属の簡易説明書をよくお読みのうえ、

製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、

いつでも見られるところに必ず保管してください。

**HDMI**

# 目次

## はじめに

各部の名前と働き	3
本体	3
接続端子	4
リモコンと本体ボタン	5

## 準備

接続のしかた	8
コンピューターとの接続	8
ビデオ機器との接続	9
外部モニター、オーディオ機器との接続	12

## 映像の投写と画面の調整

映像を投写する	13
映像を調整する	14
電源を切る	21

## メニューで行う調整と設定

メニューの操作のしかた	23
画質設定	25
信号設定	27
初期設定	31
メニュー設定	33
設置設定	34
情報	36

## ネットワーク機能

ネットワーク機能を利用する	37
ウェブブラウザでプロジェクターのコントロール画面を開く	37
プロジェクターの状態を確認する	38
プロジェクターを操作する	38

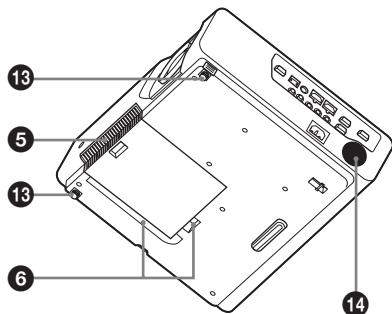
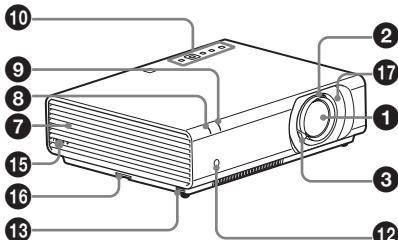
設定する	38
メールレポート機能を利用する	39

## その他

インジケーターの見かた	41
メッセージ一覧	43
故障かな?と思ったら	44
ランプを交換する	47
エアーフィルターを掃除する	49
仕様	50
投写距離とレンズシフト量	55
寸法図	60
保証書とアフターサービス	62
索引	63

# 各部の名前と働き

## 本体



- ① 投写レンズ
- ② フォーカスリング (14 ページ)
- ③ ズームレバー (14 ページ)
- ④ ランプカバー (47 ページ)
- ⑤ エアーフィルターカバー／吸気口 (49 ページ)
- ⑥ 吸気口
- ⑦ 排気口

⑧ ON/STANDBY インジケーター (41 ページ)

⑨ LAMP/COVER インジケーター (41 ページ)

⑩ 操作部 (5 ページ)

⑪ 接続端子部 (4 ページ)

⑫ リモコン受光部

⑬ 前脚部 (調整可) (16 ページ)

⑭ スピーカー

⑮ 盗難防止ロック

Kensington 社製の盗難防止用ケーブルを取り付けることができます。詳しくは、Kensington 社のホームページをご覧ください。

<http://www.kensington.com/>

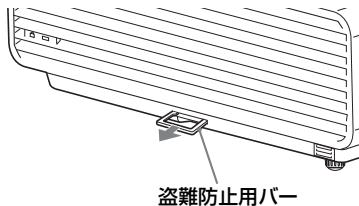
### ⚠ 警告

排気口、吸気口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、排気口付近に手を近づけたり、ビニール等変形しやすいものを置いたりしないでください。やけどや変形の原因になることがあります。

## ⑯ 盗難防止用バー

市販の盗難防止チェーン（ワイヤー）などを取り付けることができます。

引き出しにくい場合はドライバーなどを使って引き出してください。

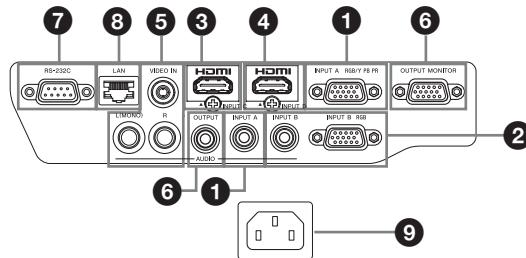


## ⑰ レンズシフトカバー (15 ページ)

シフト調整時に取り外し、奥のシフト調整用ネジにアクセスします。

## 接続端子

VPL-CX236/CX276/CW256/CW276



### ① 入力 A (INPUT A)

映像：RGB／Y PB PR 入力端子

(RGB／Y PB PR)

音声：音声入力端子 (AUDIO)

### ② 入力 B (INPUT B)

映像：RGB 入力端子 (RGB)

音声：音声入力端子 (AUDIO)

### ③ 入力 C (INPUT C)

映像：HDMI 入力端子 (HDMI)

音声：HDMI 入力端子 (HDMI)

### ④ 入力 D (INPUT D)

映像：HDMI 入力端子 (HDMI)

音声：HDMI 入力端子 (HDMI)

### ⑤ ビデオ (VIDEO IN)

映像：ビデオ入力端子

音声：音声入力端子

(L (MONO) / R) (AUDIO)

## 出力 (12 ページ)

### ⑥ 出力 (OUTPUT)

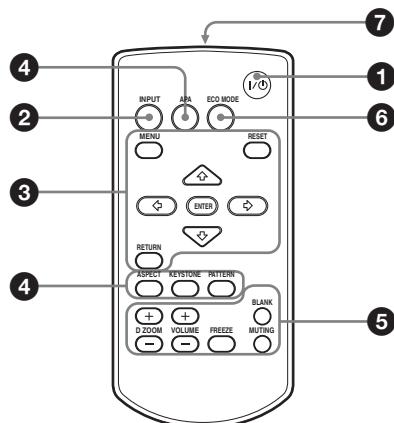
映像: モニター出力端子  
(MONITOR)  
音声: 音声出力端子 (AUDIO)

#### ご注意

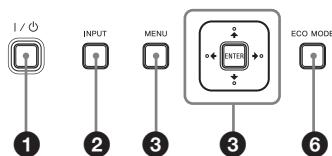
投写している映像または音声が出力されます。映像については、RGB 入力端子 (入力 A、入力 B) からコンピューター信号を入力しているとき、または Y PB PR 入力端子 (入力 A) からビデオ信号を入力しているときに出力できます。

## リモコンと本体ボタン

### リモコン



### 本体ボタン



### ① 電源を入／スタンバイする

I / (オン／スタンバイ) ボタン

## その他

### ⑦ RS-232C 端子

RS-232C 準拠の制御用端子です。コンピューターの RS-232C 端子と RS-232C ケーブル (クロス) で接続します。

### ⑧ LAN 端子 (37 ページ)

### ⑨ 電源コンセント (～)

付属の電源コードを接続します。

### ② 入力を切り換える (13 ページ)

INPUT (入力選択) ボタン

### ③ メニュー操作などを行う (23 ページ)

MENU (メニュー) ボタン

RESET (リセット) ボタン

ENTER (決定) / ↑/↓/←/→ (矢印) ボタン

RETURN (戻る) ボタン

本機では使用できません。

### ④ 映像を調整する (14 ページ)

ASPECT (アスペクト) ボタン

KEYSTONE (台形補正) ボタン

PATTERN (パターン) ボタン

APA (オートピクセルアライメント) ボタン\*

#### ご注意

\* RGB 入力端子 (入力 A、入力 B) からコンピューター信号を入力しているときに使用できます。

## ⑤ 投写中の便利な機能を利用する

### D ZOOM (デジタルズーム) +/- ボタン\*1

投写中の映像の一部を拡大します。

1 D ZOOM + ボタンを押し、投写画面上にデジタルズームアイコンを表示する。

2  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  ボタンで、拡大したい映像の位置にデジタルズームアイコンを移動させる。

3 D ZOOM + ボタンまたは D ZOOM - ボタンをくり返し押し、拡大率を変える。

拡大率は 1 倍から 4 倍まで変更できます。

RESET ボタンを押すと、元の映像に戻ります。

### BLANK (映像消去) ボタン

一時的に映像を消します。もう一度押すと解除します。

### MUTING (消音) ボタン

音声出力時に一時的に音声を消します。もう一度押すと解除します。

### VOLUME (音量) +/- ボタン

音量を調整します。

### FREEZE (フリーズ) ボタン\*2

一時的に映像を静止します。もう一度押すと解除します。

#### ご注意

\*1 コンピューター信号を入力しているときに使用できます。ただし入力信号の解像度によっては使用できない場合があります。

\*2 コンピューター信号を入力しているときに使用できます。

## ⑥ 簡単に省エネ設定をする

### ECO MODE (エコ モード) ボタン

「ランプモード」、「無信号時設定」、「信号無変化時設定」、「スタンバイモード」の省エネ設定ができます。

1 ECO MODE ボタンを押し、ECO モードメニューを表示する。



2  $\uparrow/\downarrow$  ボタンまたは ECO MODE ボタンを押し、「省エネ設定」または「ユーザー」モードを選ぶ。

**省エネ設定**：それぞれの設定を最も

省エネになる値（ランプモード：「標準」／無信号時設定：「スタンバイ」／信号無変化時設定：「ランプ減光」／スタンバイモード：「低」）に設定します。（手順 6 へ）

**ユーザー**：省エネ設定を手動で行えます。（手順 3 へ）

3 「ユーザー」を選び、 $\rightarrow$  ボタンを押す。設定項目が表示されます。



4  $\uparrow/\downarrow$  ボタンで項目を選択し、ENTER ボタンを押して設定項目を選ぶ。

5  $\uparrow/\downarrow$  ボタンで設定値を選ぶ。

6 ENTER ボタンを押す。

ユーザー画面に戻ります。

各設定項目の内容について詳細は、設置設定メニューの「ランプモード」(34 ページ)、「スタンバイモード」(35 ページ)、初期設定メニューの「無信号時設定」(31 ページ)、「信号無変化時設定」(31 ページ) をご覧ください。

### ご注意

「ECO モード」を「ECO」、または「ユーザー」の「スタンバイモード」を「低」に設定すると、スタンバイ時にネットワークコントロール機能は使用できなくなります。ネットワークおよびネットワークコントロール機能などによる外部制御を行っている場合には、「ECO」を選択しない、もしくは「ユーザー」の「スタンバイモード」を「低」に設定しないでください。

---

## その他

### ⑦ リモコン発光部

#### リモコンの操作について

- ・リモコン受光部に向けて操作してください。
- ・本体に近いほど、操作可能な角度が広がります。
- ・リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。

# 接続のしかた

## ご注意

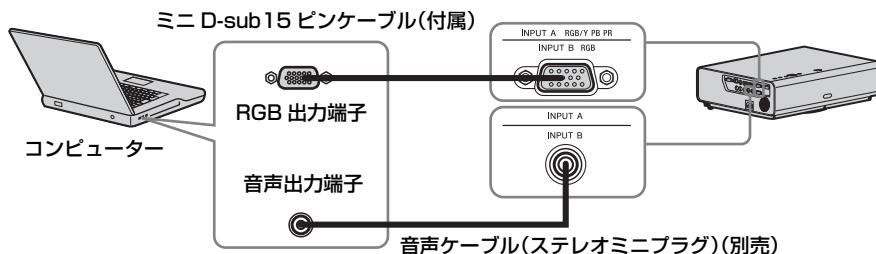
- 各機器の電源を切った状態で接続してください。
- 接続ケーブルは、各端子の形状に合った正しいものを選んでください。
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、動作不良や画質不良の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 音声ケーブルは、抵抗なしのものをお使いください。

## コンピューターとの接続

コンピューターとの接続のしかたを入力別に説明します。

### 入力 A (INPUT A) / 入力 B (INPUT B)

RGB 出力端子付きのコンピューターと接続します。

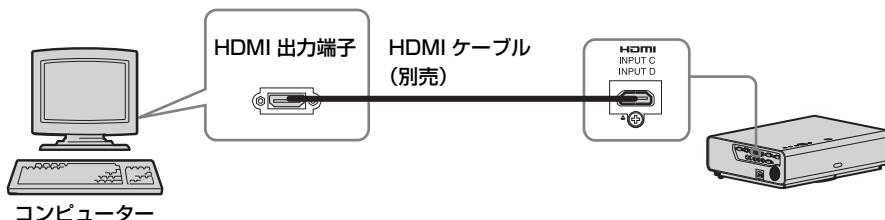


## ご注意

コンピューターの画面の設定で、外部モニターの解像度を VPL-CX236/CX276 は  $1024 \times 768$  ピクセル、VPL-CW256/CW276 は  $1280 \times 800$  ピクセルに設定することをおすすめします。

## 入力C (INPUT C) / 入力D (INPUT D)

HDMI出力端子付きのコンピュータと接続します。



### ご注意

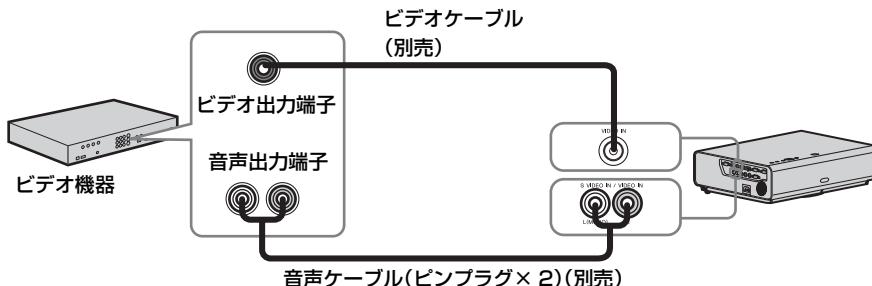
- ・HDMIで接続する機器、およびHDMIケーブルは、HDMIロゴを取得したものをご使用ください。
- ・HDMIケーブルは、ケーブルタイプロゴの明記されたHigh Speedケーブルをお使いください。(ソニー製を推奨します。)
- ・本機のHDMI端子は、DSD(Direct Stream Digital)信号とCEC(Consumer Electronics Control)信号には対応していません。
- ・DVI-D出力端子付きPCの場合、HDMI-DVI-Dケーブル(別売)を使用することで、接続できます。

## ビデオ機器との接続

DVDプレーヤー、BDプレーヤーなどのビデオ機器との接続のしかたを入力別に説明します。

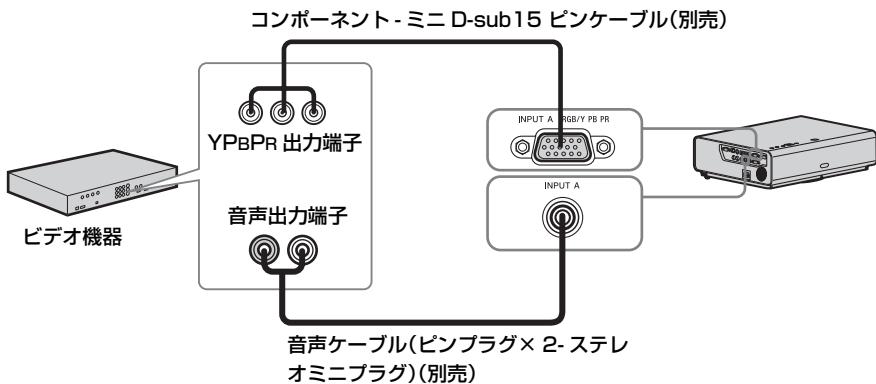
### ビデオ (VIDEO IN)

ビデオ出力端子付きのビデオ機器と接続します。



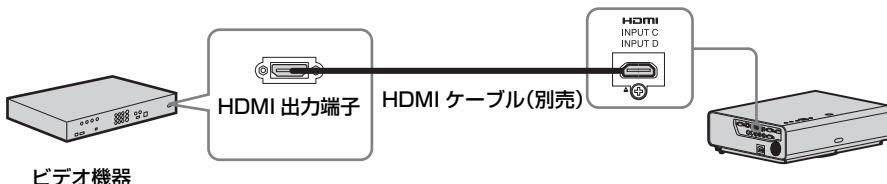
## 入力 A (INPUT A)

Y Pb Pr 出力端子付きのビデオ機器と接続します。



## 入力 C (INPUT C) / 入力 D (INPUT D)

HDMI 出力端子付きのビデオ機器と接続します。



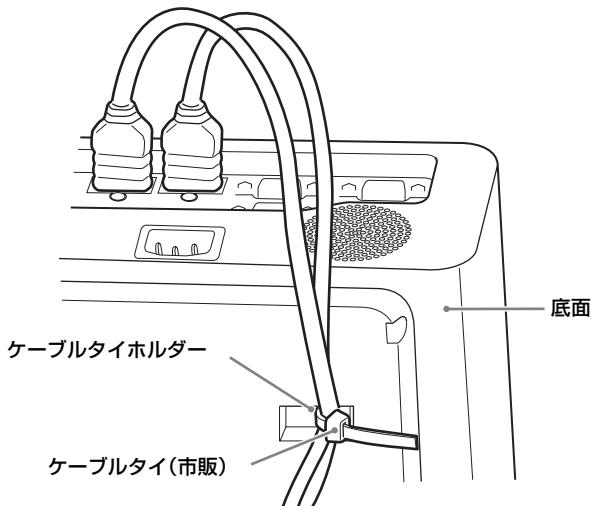
### ご注意

- HDMI で接続する機器、および HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したものをご使用ください。
- HDMI ケーブルは、ケーブルタイプロゴの明記された High Speed ケーブルをお使いください。(ソニー製を推奨します。)
- 本機の HDMI 端子は、DSD (Direct Stream Digital) 信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。

## HDMI ケーブルを固定したい場合は

HDMI 端子の底面にあるケーブルタイホルダーに市販のケーブルタイなどを利用し、図のように固定してください。

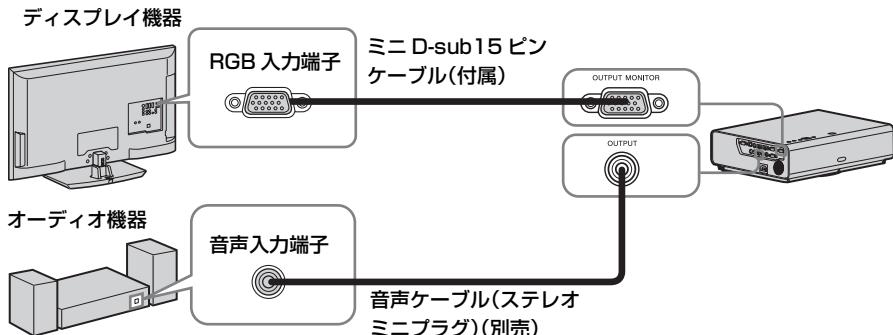
ケーブルタイは、太さが 1.9 mm × 3.8 mm 以下のものを用意してください。



## 外部モニター、オーディオ機器との接続

### 出力 (OUTPUT)

投写中の映像または本機に入力された音声を、モニターなどのディスプレイ機器、またはアンプ内蔵スピーカーなどのオーディオ機器に出力することができます。音声出力端子にケーブルを接続すると、本体内蔵スピーカーはオフになります。

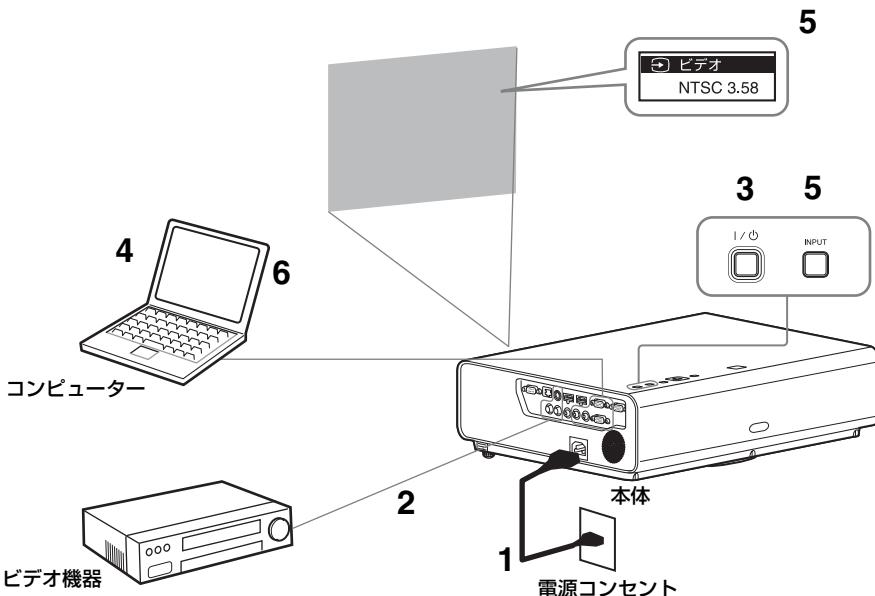


#### ご注意

投写している映像または音声が出力されます。映像については、RGB 入力端子（入力 A、入力 B）からコンピューター信号を入力しているとき、または Y Pb Pr 入力端子（入力 A）からビデオ信号を入力しているときに出力できます。

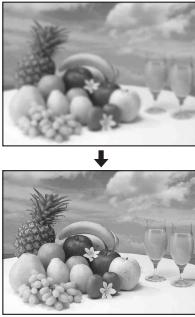
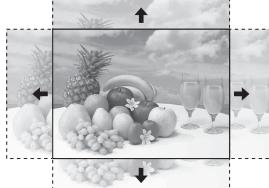
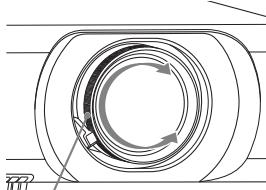
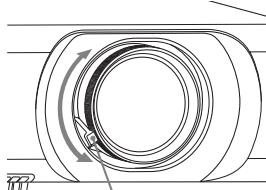
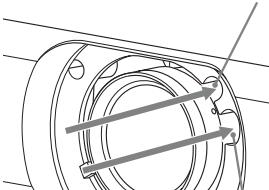
# 映像を投写する

プロジェクター（本機）は、スクリーンまでの距離（投写距離）によって投写される映像の大きさが変わります。スクリーンサイズに合うように本機を設置してください。投写距離と投写される映像の大きさについて詳しくは、「投写距離とレンズシフト量」（55 ページ）をご覧ください。



- 1 電源コードをコンセントに差し込む。
- 2 再生する機器と接続する（8 ページ）。
- 3 I/○ボタンを押して、電源を入れる。
- 4 再生する機器の電源を入れる。
- 5 投写する映像を選ぶ。  
本機の INPUT ボタンを押すたびに、映像が切り換わります。  
INPUT ボタンを繰り返し押して、投写する映像を選択します。
- 6 コンピューターの映像を選ぶ場合は、コンピューター側で画面の出力先を外部ディスプレイに変更する。  
出力先の切り換えは、コンピューターによって異なります。  
(例)  
[Fn] + [F7]
- 7 画面のフォーカス、位置を調整する（14 ページ）。

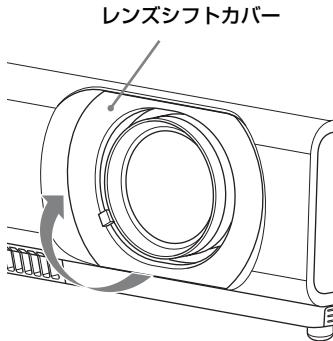
## 映像を調整する

画面のフォーカス (フォーカス)	画面のサイズ (ズーム)	画面の位置 (レンズシフト)
		
 <p>フォーカスリング</p>	 <p>ズームレバー</p>	 <p>②V シフト調整ネジ</p> <p>①H シフト調整ネジ</p>

## レンズシフトによる微調整

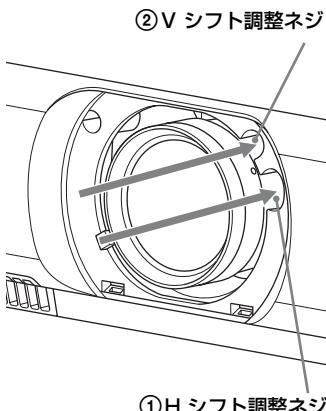
レンズシフト調整用のネジ (V シフト調整ネジ、H シフト調整ネジ) を回して画面の位置を調整します。

- 1 レンズカバーの下側に指をひっかけて外します。

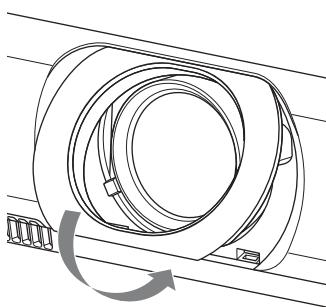


- 2 レンズ側からプラスドライバーを差込み、奥にある ①H シフト調整ネジ (左右調整用)、②V シフト調整ネジ (上下調整用) を回してシフトを調整します。このときレンズを覗きこまないよう注意してください。

レンズシフト調整ネジは、回していくと、あるところでシフト位置が元に戻ります。さらに回し続けて最適な場所に調整してください。調整範囲に関して詳しくは、「レンズシフト量」(59 ページ) をご覧ください。



- 3 レンズシフトカバーを元に戻す。



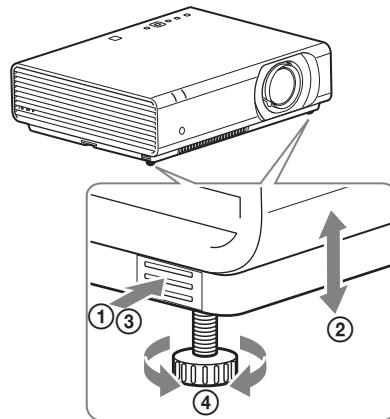
## 前脚部（調整可）による微調整

本体横のボタンを押して高さを微調整することができます。

前脚部（調整可）を使ってプロジェクターの傾きをかえることにより投写される画面の位置を調整します。

### 前脚部（調整可）の使いかた

- 1 脚調整ボタンを押す。
- 2 プロジェクターを持ち上げて角度を調整する。
- 3 脚調整ボタンをはなす。
- 4 微調整が必要な場合は、前脚部（調整可）を左右に回して調整する。



### ご注意

- ・前脚部（調整可）を調整するときは、手をはさまないようにしてください。
- ・前脚部（調整可）を出した状態で、本機を上から強く押さえないでください。故障の原因になります。

## 投写画面の縦横比を変更する

リモコンの ASPECT ボタンを押すと投写画面の縦横比が切り換わります。メニューの信号設定のアスペクトからも設定できます（27 ページ、29 ページ）。

## 台形になった画面を補正する（キーストーン補正）

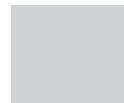
### 上下方向に台形になっている場合

「V キーストーン」が「オート」に設定されている場合、自動的にオートキーストーン補正機能が働き、補正されますが、スクリーンが傾いていたりすると、正常に動作しない場合があります。その場合は、手動でキーストーン補正を行ってください。

- 1 リモコンのKEYSTONEボタンを1回押す、もしくは設置設定の V キーストーンを選び、調整メニューを表示する。
- 2  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  で数値を調整する。数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。



数値をプラス方向に大きくする



数値をマイナス方向に大きくする



RESET ボタンを押すと、補正無しの状態に戻ります。

### 左右方向に台形になっている場合

- 1 リモコンのKEYSTONEボタンを2回押す、もしくは、設置設定の H キーストーンを選び、調整メニューを表示する。

- 2  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  で数値を調整する。数値が + 方向に大きくなると右片が小さくなり、- 方向に大きくなると左辺が小さくなります。



数値をマイナス方向に大きくする

数値をプラス方向に大きくする

RESET ボタンを押すと、補正無しの状態に戻ります。

## ご注意

- キーストーン補正是電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。
- レンズシフト調整の位置によっては、キーストーン補正を行うとオリジナル画像のアスペクト比（縦横比）が維持できない、または画像に歪みが生じる場合があります。

## 画面のゆがみを補正する（ワープ補正）

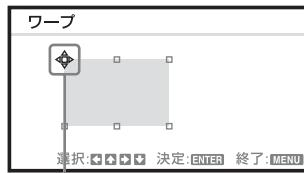
ワープ補正是、画像ゆがみを補正できます。

- リモコンのKEYSTONEボタンを3回押す、もしくは設置設定の「ワープ」を選び、「調整」を選択します。
- ガイドが表示されます。



## コーナーの位置補正

- ↑/↓/←/→で、□を移動させ、補正を行いたいコーナーを選択します。  
ENTERを押すと、カーソル表示に変わります。



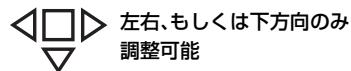
このカーソルで調整します。

- ↑/↓/←/→で、コーナーの位置を調整します。



- ゆがみの調整が限界になると、カーソルが消えます。

カーソルの表示例：



RESETボタンを押すと、補正無しの状態に戻ります。

## 辺のたわみ補正 ①- 左右の辺を調整する場合

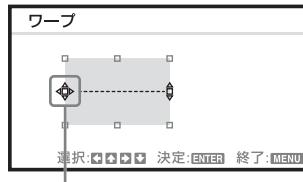
1  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  で、□を移動させ、補正を行いたい辺を選択します。  
ENTER を押すと、カーソル表示に変ります。



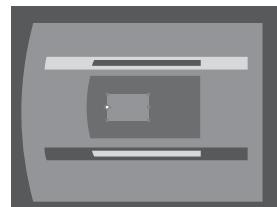
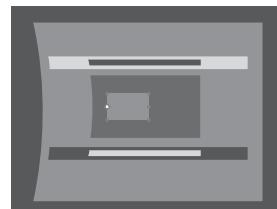
2  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  で、たわみの調整を行います。  
 $\uparrow/\downarrow$  で、たわみの中心の位置を調整できます。 $\leftarrow/\rightarrow$  で、たわみの大きさを調整します。左右の辺を、独立して調整することができます。

### ご注意

たわみの中心位置の調整は、左右の辺が同時に調整されます。

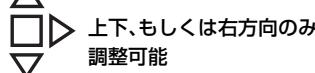


このカーソルで調整します。



3 ゆがみの調整が限界になると、カーソルが消えます。

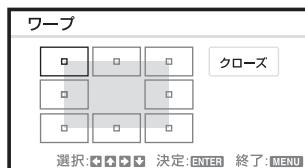
### カーソルの表示例:



RESET ボタンを押すと、補正無しの状態に戻ります。

## 辺のたわみ補正 ②- 上下の辺を調整する場合

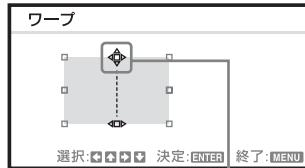
1  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  で、□を移動させ、補正を行いたい辺を選択します。  
ENTER を押すと、カーソル表示に変ります。



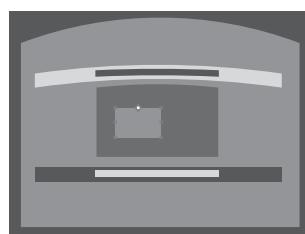
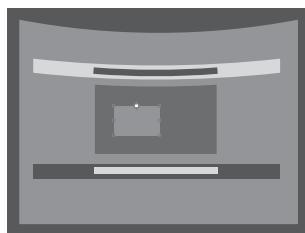
2  $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$  で、たわみを調整を行います。  
 $\leftarrow/\rightarrow$  で、たわみの中心位置を調整できます。 $\uparrow/\downarrow$  で、たわみの大きさを調整します。上下の辺を、独立して調整することができます。

### ご注意

たわみの中心位置の調整は、上下の辺が同時に調整されます。

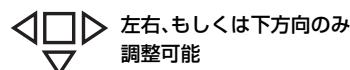


このカーソルで調整します。



3 ゆがみの調整が限界になると、カーソルが消えます。

### カーソルの表示例:



RESET ボタンを押すと、補正無しの状態に戻ります。

## コンピューター信号入力時に投写画面のフェーズ、ピッチ、シフトを自動調整する（オートピクセルアライメント（APA））

リモコンの APA ボタンを押す。調整中にもう一度押すと、調整が取り消されます。メニュー（初期設定）のスマート APA で「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的に APA を実行します（31 ページ）。

### 電源を切る

#### 1 本体またはリモコンの **I/Off** ボタンを押す。

シャットダウン中のメッセージが表示されます。

そのまま何もボタンを押さないでいると、電源が切れます。

シャットダウン中のメッセージが表示されている間に、本体またはリモコンの **I/Off** ボタンを押すと再起動します。

#### ご注意

ランプ点灯後は、すぐに電源を切らないでください。ランプが点灯しないなど、故障の原因になるおそれがあります。

#### 2 電源コードを抜く。

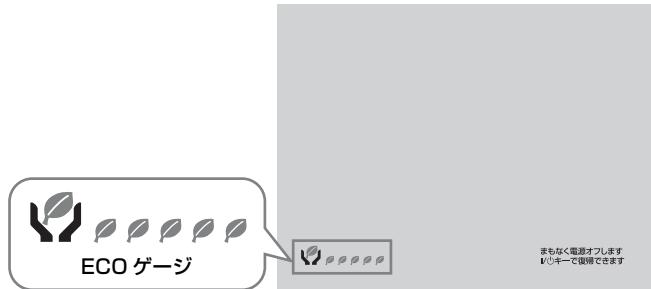
手順 1 のあと、しばらくの間本体を冷やすためにファンが回り続けますが、ファンの停止を待たずに電源コードを抜くこともできます。

### 確認メッセージを出さずに電源を切る

本体の **I/Off** ボタンを数秒間押し続けてください。

## ECO ゲージ

本機の ECO 機能が効果的に活用されたかを表す指標です。(ECO 機能については、「ECO MODE (エコモード) ボタン」(6 ページ)、「オートパワーセービング」(31 ページ)、「ランプモード」(34 ページ) をご覧ください。) ECO 機能の設定により省電力が達成された度合いによって、シャットダウン時に葉マークの枚数で表示されます。



# メニューの操作のしかた

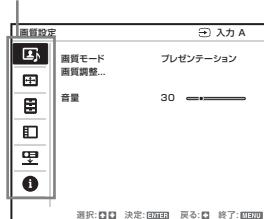
## ご注意

説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によって異なることがあります。あらかじめご了承ください。

- 1 MENU ボタンを押して、メニュー画面を表示させる。
- 2 設定したい設定メニューを選ぶ。

▲ または ▼ ボタンを押して設定メニューを選び、→ ボタンまたは ENTER ボタンを押す。

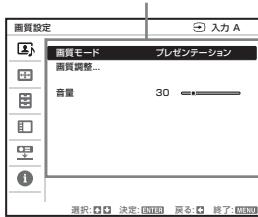
### 設定メニュー



- 3 設定したい項目を選ぶ。

▲ または ▼ ボタンを押して項目を選び、→ ボタンまたは ENTER ボタンを押す。  
← ボタンを押すと、設定メニューの選択に戻ります。

### 設定項目



- 4 設定項目の設定や調整をする。

設定項目によって、設定のしかたが異なります。次の階層が表示された場合は、3 の手順に従って設定したい項目を選んでください。

← ボタンを押すと、設定項目の選択に戻ります。また、設定項目を設定、または調整中に RESET ボタンを押すと、お買い上げ時の値に戻ります。

### 選択項目



### 設定メニューの操作 :

▲/▼ ボタンで項目を選びます。  
ENTER ボタンを押すと元の画面に戻ります。

### 調整メニューの操作 :

数値を大きくするときは ▲ または → ボタンを押し、数値を小さくするときは ▼ または ← ボタンを押します。ENTER ボタンを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。



## 5 MENU ボタンを押して、メニュー画面を消す。

しばらくの間操作をしないと、メニュー画面は自動的に消えます。

# 画質設定

入力信号ごとに画質を調整します。

項目	項目説明
画質モード	<b>ダイナミック</b> ：明暗のはっきりしたメリハリのある鮮やかな画質になります。 <b>スタンダード</b> ：なめらかな階調の自然な画質になります。 <b>プレゼンテーション</b> ：プレゼンテーションに適した明るい画質になります。
画質調整 ...	下記の項目は、「画質モード」ごとに設定値が記憶されます。
コントラスト	数値が大きくなると映像のメリハリが強くなり、小さくなると弱くなります。
明るさ	数値が大きくなると映像が明るくなり、小さくなると暗くなります。
色の濃さ <sup>*1、*3</sup>	数値が大きくなると映像の色が濃くなり、小さくなると薄くなります。
色あい <sup>*1、*3、*4</sup>	数値が大きくなると映像の色あいが緑がかり、小さくなると赤みがかかります。
シャープネス <sup>*6</sup>	数値が大きくなると映像の輪郭がはっきりし、小さくなると柔らかくなります。
色温度 <sup>*2</sup>	<b>高／中／低</b> ：高い温度ほど映像が青みがかった色調になり、低い温度ほど赤みがかった色調になります。
DDE <sup>*1、*5</sup>	<b>切</b> ：インターレース信号のまま変換せずに表示します。 <b>プログレッシブ</b> ：インターレースのビデオ信号をプログレッシブに変換して表示します。 <b>フィルム</b> ：映画フィルム映像を原画に忠実な映像に再現します。
ガンマモード	<b>グラフィックス1</b> ：中間調が明るために補正されるガンマ補正曲線を選びます。写真等の多彩な映像を明るい場所で投映する際に適しています。 <b>グラフィックス2</b> ：中間調の再現性が高くなるガンマ補正曲線を選びます。写真等の多彩な映像を自然な階調で再現します。 <b>テキスト</b> ：白と黒の対比をはっきりさせるガンマ補正曲線を選びます。文字の多い映像に適しています。
音量	数値が大きくなると音量が大きくなり、小さくなると音量が小さくなります。外部音声出力の音量レベルも連動します。

### ご注意

- \*1：ビデオ信号入力時に選択できます。
- \*2：画質モードを「プレゼンテーション」以外に設定している場合に選択できます。
- \*3：白黒信号入力時には選択できません。
- \*4：アナログ TV 信号の場合は、カラー方式によっては選択できない場合があります。
- \*5：プログレッシブ信号入力時および 1080i 信号入力時には選択できません。
- \*6：入力信号が HD 信号 (1080i/720p) の時は、選択できません。

# ■ 信号設定

入力信号ごとに、投写画面のサイズ、位置、アスペクトなどを調整します。

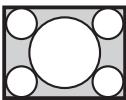
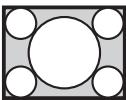
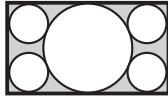
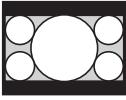
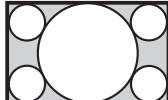
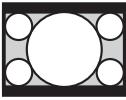
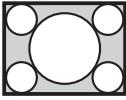
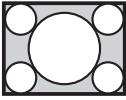
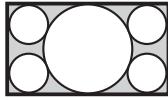
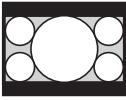
項目	項目説明
入力信号調整	コンピューター信号入力時の投写画面を調整します。画面の端が切れていたり、映りが悪い場合に調整します。
ドット フェーズ <sup>*1</sup>	入力信号と表示画素の位相（フェーズ）を調整します。一番くっきり見える数値に設定してください。
水平サイズ <sup>*1</sup>	数値が大きくなると水平方向の表示画素の幅（ピッチ）が大きくなり、小さくなると幅が小さくなります。
シフト <sup>*2</sup>	<b>H (水平)</b> ：数値が大きくなると画面が右に、小さくなると左に移動します。 <b>V (垂直)</b> ：数値が大きくなると画面が上に、小さくなると下に移動します。
アスペクト <sup>*3</sup>	投写している画面の縦横比が切り換わります。（29 ページ）
コンピューター信号入力時	<b>ノーマル</b> ：拡大処理をせずに入力信号の解像度のまま、画面の中心位置に投写します。
CX236/ CX276)	<b>フル 1</b> ：入力信号の縦横比を維持して画面いっぱいに投写します。 <b>フル 2</b> ：画面いっぱいに投写します。 <b>フル 3<sup>*5</sup></b> ：オリジナル画像の縦横比を変えずに、1280 × 720 ドットの範囲に、縦または横いっぱいに投写します。
ビデオ信号	<b>4:3</b> ：縦横比を 4:3 に固定し、画面いっぱいに投写します。
入力時 (VPL-CW256/ CW276)	<b>16:9</b> ：縦横比を 16:9 に固定し、画面いっぱいに投写します。 <b>ズーム</b> ：画面の中心部分を拡大して投写します。
オーバースキャン <sup>*4</sup>	<b>入/切</b> ：「入」を選ぶと映像の周囲を隠して投写します。映像の端にノイズなどが見える場合に使用します。

### ご注意

- \*1:RGB 入力端子（入力 A、入力 B）から入力されるコンピューター信号入力時に選択できます。
- \*2:RGB 入力端子（入力 A、入力 B）から入力されるコンピューター信号入力時、または Y Pb Pr 入力端子（入力 A）から入力されるビデオ信号入力時に選択できます。
- \*3 · 営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト機能などをを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
  - 入力信号によって、「アスペクト」の項目または一部の設定項目を設定できない場合があります。また、異なるアスペクトを設定しても同じ映像になる場合があります。
  - 選択した項目によって画面の一部が黒で表示される場合があります。
- \*4:Y PbPr 入力端子（入力 A）、または HDMI 入力端子（入力 C、入力 D）から入力されるビデオ信号入力時に選択できます。
- \*5:VPL-CW256/CW276 のみ。

## アスペクトについて

### VPL-CX236/CX276

入力信号	おすすめの設定値 とそのときに投写 される映像
コンピューター信号	「4:3」 
	「フル1」*1 
	「16:9」 
ビデオ信号	「フル1」*1*2 
	「16:10」 
ビデオ信号	「フル1」*1*2 
	「4:3」 
	「4:3」*3 
ビデオ信号	「16:9」 
	「16:9」*4 

\*1:「ノーマル」を選ぶと、拡大処理をせずに映像信号の解像度のままで表示します。



\*2:「フル2」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投写します。

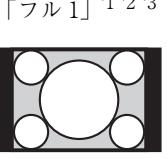
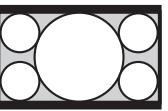
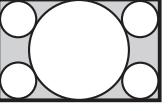
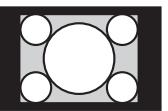
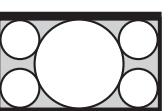


\*3:入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「16:9」を選んでください。



\*4:入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「ズーム」を選んでください。

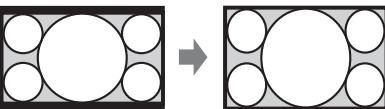


	入力信号	おすすめの設定値 とそのときに投写 される映像
コンピューター信号	「4:3」	「フル1」*1*2*3 
	「16:9」	「フル1」*1*2*3 
	「16:10」	「フル1」*3 
ビデオ信号	「4:3」	「4:3」*4*5 
	「16:9」	「16:9」 

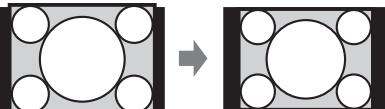
\*1:「ノーマル」を選ぶと、拡大処理をせずに映像信号の解像度のままで表示します。



\*2:「フル2」を選ぶと、縦横比を無視して画面いっぱいに投写します。



\*3:16:9の信号で、スクリーン表示位置を調整した場合、4:3の信号を入力すると、上下がスクリーンからはみ出することがあります。そのような場合は、「フル3」を選択してください。



\*4:入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「16:9」を選んでください。



\*5:入力信号によっては、下のように表示される場合があります。この場合は「ズーム」を選んでください。



# 目 初期設定

本機が対応しているさまざまな機能を設定します。

項目	項目説明
オートパワーセービング	省電力設定を行います。
無信号時設定 <sup>6</sup>	<b>ランプオフ</b> ：本体に信号が入力されない状態が10分以上続いた場合に、自動的にランプが切れて消費電力を少なくすることができます。信号が入力されるか、ボタンを操作すると再びランプが点灯します。ランプオフ状態では、ON/STANBY インジケーターはオレンジ色に点灯します。(41 ページ) <b>スタンバイ</b> ：本体に信号が入力されない状態が約10分続くと自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。 <b>切</b> ：無信号時設定機能を無効にします。
信号無変化時設定	<b>ランプ減光／切</b> ：「ランプ減光」を選ぶと、ほぼ画面の変化がないときに、ランプの明るさが徐々に暗くなります。画面が暗くなるタイミングは、「5分」、「10分」、「15分」、「20分」、「デモ」から選択できます。「デモ」を選択すると、約30秒後に画面が暗くなり始めます。
スマート APA	<b>入／切</b> ：「入」を選ぶと、信号が入力されると自動的に APA を実行します。 <sup>1,2</sup>
オート入力サーチ	<b>入／切</b> ：「入」を選ぶと、電源投入時または、INPUT キーが押されたときに、入力 A／入力 B／入力 C／入力 D／ビデオの順に入力信号の有無を検出し、入力信号のあるチャンネルを表示します。
入力 A 信号種別	<b>オート／コンピューター／コンポーネント／ビデオ GBR</b> ：「オート」を選ぶと、入力 A を選んでいるときの映像信号の種別を自動的に選びます。 <sup>3</sup>
カラー方式	<b>オート／NTSC3.58／PAL／PAL-60／SECAM／NTSC4.43／PAL-M／PAL-N</b> ：「オート」を選ぶと、ビデオを選んでいるときの映像信号のカラー方式を自動的に選びます。 <sup>3</sup>
リモコン受光部	本体前面と後面のリモコン受光部（IR 受光部）の設定を行います。 <b>前 &amp; 後</b> ：前面と後面のリモコン受光部を両方働かせる場合。 <b>前</b> ：前面のリモコン受光部だけを働かせる場合。 <b>後</b> ：後面のリモコン受光部だけを働かせる場合。

項目	項目説明
パネルキーロック	<p>入／切：「入」を選ぶと、本体ボタンでの操作ができなくなります。ただし、「入」の場合でも以下の操作はできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタンバイ状態で、I/待機ボタンを約10秒押す。 →電源が入ります。</li> <li>・電源が入った状態で、I/待機ボタンを約10秒押す。 →スタンバイ状態になります。</li> <li>・電源が入った状態で、MENUボタンを約10秒押す。 →パネルキーロックが「切」になり、本体ボタンの操作が可能になります。</li> </ul>
CCディスプレイ <sup>5</sup>	<p>CC1／CC2／CC3／CC4／Text1／Text2／Text3／Text4：表示するCC（クローズドキャプション）のサービス（字幕または文字情報）を選択します。</p> <p>切：CCを表示しません。</p>
ネットワーク設定 <sup>4</sup>	
IPアドレス設定	<p><b>自動(DHCP)</b>：ルーターなどのDHCPサーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。</p> <p><b>手動</b>：手動でネットワークを設定します。</p>
IPアドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイ／DNSサーバアドレス／適用	IPアドレス設定で「手動」を選んだときに、◀または▶で入力する値を選び、▲または▼で値を入力します。すべての入力が終了したら「適用」を選び、ENTERボタンを押すと設定が有効になります。
ランプタイマー初期化	ランプを交換したときにランプタイマーを初期化します。（47ページ）

### ご注意

- \*1：RGB入力端子（入力A、入力B）からコンピューター信号が入力された時にAPAが実行されます。
- \*2：投写している画像の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると正しく働かず、画像の一部が表示されないことがあります。また、入力信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は手動で「ドットフェーズ」、「水平サイズ」、「シフト」を調整してください。
- \*3：入力される映像信号によっては、最適にならない場合があります。その場合は、接続している機器に応じて手動で設定してください。
- \*4：設置設定メニューの「外部制御」で、「REMOTE」を選択しているとき「ネットワーク設定」は表示されません。
- \*5：NTSC信号のときのみ、選択できます。
- \*6：無入力信号時に、自動的にスタンバイ状態にさせたくない場合には、設定を「切」にしてください。

## □ メニュー設定

メニューやりモコンによる操作のための機能を設定します。

項目	項目説明
画面表示	入：すべての画面表示が有効になります。 切：メニューの表示、警告メッセージ、確認メッセージなど以外の画面表示が出なくなります。
表示言語	メニューやメッセージなどに使用する言語を設定します。
メニュー位置	左上／左下／中央／右上／右下：メニューの表示位置を設定します。
スタートアップ イメージ	入／切：「入」を選ぶと起動時にスタートアップイメージが表示されます。

# ■ 設置設定

本機を設置するときに使われる機能を設定します。

項目	項目説明
スクリーンフィット	<b>HV キーストーン / ワープ</b> ：画像ゆがみ補正方法を選択します。
V キーストーン <sup>*1, *5</sup>	「スクリーンフィット」で、「HV キーストーン」が選択されているときに、表示されます。 <b>オート</b> ：自動でキーストーン補正を行います。スクリーンが傾いていたりすると、正常に動作しない場合があります。その場合は、「手動」を選び、キーストーン補正を手動で行ってください。 <b>手動</b> ：数値がプラス方向に大きくなると画面の上側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の下側の幅が小さくなります。
H キーストーン <sup>*1, *5</sup>	「スクリーンフィット」で、「HV キーストーン」が選択されているときに、表示されます。数値がプラス方向に大きくなると画面の右側の幅が小さくなり、マイナス方向に大きくなると画面の左側の幅が小さくなります。
ワープ	「スクリーンフィット」で、「ワープ」が選択されているときに、表示されます。 <b>調整</b> ：画像ゆがみを調整します。 <b>標準に戻す</b> ：調整した値をリセットし、画像を調整されていない状態に戻します。
画像反転	<b>上下左右／左右／上下／切</b> ：設置方法に応じて映像を水平または垂直方向に反転します。
無信号入力時背景	<b>ブラック／ブルー</b> ：信号が入力されていないときの背景の色を設定できます。
ランプモード	<b>オート<sup>*6</sup>／高／標準／低<sup>*7</sup></b> ：「高」を選ぶと映像は明るくなり、消費電力が高くなります。「オート」を選んだ場合は、入力された映像により輝度が自動調整されます。暗い映像は、輝度を調整して投写することで、省電力につながります。一方、明るい映像は、輝度を調整せず明るく投写します。
高地モード <sup>*2</sup>	<b>入／切</b> ：高地（海拔 1500 m 以上）で使用する場合に「入」に設定してください。誤った設定のままで使用すると、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

項目	項目説明
セキュリティロック <sup>*3</sup>	<p><b>入／切</b>：パスワードを設定し、利用者を制限することができます。セキュリティロックの設定手順は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「入」を選び、ENTERボタンを押して設定画面を表示する。</li> <li>2 MENU、<math>\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow</math>、ENTERの6つのボタンを使用してパスワードを入力する。(出荷時は“ENTER, ENTER, ENTER, ENTER”が設定されています。)</li> <li>3 MENU、<math>\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow</math>、ENTERの6つのボタンを使用して新しいパスワードを入力する。</li> <li>4 確認のため、もう一度新しく設定したパスワードを入力する。パスワードは、電源コードの抜き差しをしたあと、電源を入れたときに入力します。</li> </ol> <p>「切」を選ぶとセキュリティロックを解除できます。このときも、パスワードの入力が必要です。</p> <p>パスワードの入力に3回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合は、<math>\text{V}/\text{U}</math>ボタンを押して一度スタンバイにし、もう一度電源を入れ直してください。</p>
ダイレクトパワー オン	入／切：「入」を選ぶと、電源コードをコンセントに接続したときに、スタンバイ状態を経ずに電源が入になるようになります。電源を切るときは、ダイレクトパワーオンの設定に関わらず、スタンバイを経ずに電源コードを抜くことができます。
外部制御	<p><b>REMOTE</b>：RS-232Cで制御するときに選びます。</p> <p><b>NETWORK</b>：ネットワークで制御するときに選びます。</p>
スタンバイモード <sup>*4</sup>	標準／低：「低」を選ぶと、スタンバイ時の消費電力が少なくなります。

### ご注意

- \*1：キーストーン補正は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。
- \*2：高地モードを「入」にした場合、ファンの回転数が上がり、音が少し大きくなります。
- \*3：パスワードが分からなくなったり、本機を使用することができなくなるので充分にご注意ください。ソニーの相談窓口にお問い合わせいただくと、パスワードをご案内いたします。その際は、本機のシリアル番号とお客様の確認が必要になります。(確認方法は、販売国／地域によって異なります。)
- \*4：スタンバイモードが「低」の場合、スタンバイ時にネットワークおよびネットワークコントロール機能は使えません。
- \*5：レンズシフト調整の位置によっては、キーストーン補正を行うとオリジナル画像のアスペクト比（縦横比）が維持できない、または画像に歪みが生じる場合があります。
- \*6：VPL-CX276/CW276のみ。
- \*7：VPL-CX236/CW256のみ。

## ① 情報

ランプの使用時間など、本機の情報を確認できます。

項目	項目説明
モデル名	本機のモデル名を表示します。
シリアル No.	本機のシリアル番号を表示します。
水平周波数 <sup>*1</sup>	現在入力されている信号の水平周波数を表示します。
垂直周波数 <sup>*1</sup>	現在入力されている信号の垂直周波数を表示します。
信号の種類	現在入力されている信号の種類を表示します。
IP アドレス <sup>*2*3</sup>	IP アドレスを表示します。
ランプ使用時間	これまでのランプの使用時間を表示します。

### ご注意

\*1: 入力信号によって表示されない場合があります。

\*2: 設置設定メニューの「外部制御」で「REMOTE」を選択しているときは表示されません。

\*3: IP アドレス表記が「000.000.000.000」となった場合は、情報メニューを選択しなおしてください。

# ネットワーク機能を利用する

プロジェクターをネットワークに接続することで、以下のことができます。

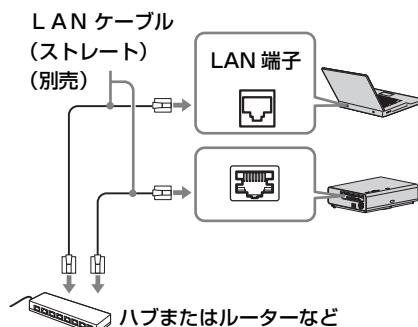
- ・ウェブブラウザを利用してプロジェクターの現在の状況を確認する。
- ・ウェブブラウザを利用してプロジェクターを遠隔操作する。
- ・プロジェクターからメールレポートを受け取る。
- ・プロジェクターのネットワーク設定を行う。
- ・各種ネットワーク監視、制御プロトコル（Advertisement、PJ Talk、PJ Link、AMX DDDP（Dynamic Device Discovery Protocol））に対応。

## ご注意

- ・本機をネットワークに接続する際には、ネットワーク管理者にご相談ください。また、セキュリティ対策されたネットワーク環境でご使用ください。
- ・プロジェクターをネットワークに接続してご使用になる際は、ブラウザでコントロール画面にアクセスし、アクセス制限設定を工場出荷時の設定から変更してください。（38 ページ）また、定期的にパスワードを変更することを推奨します。
- ・ブラウザでの設定作業が完了したら、ログアウトするためにブラウザを閉じてください。
- ・説明で使用している画面はイメージです。ご使用になっている機種によっては異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・使用できるウェブブラウザは、Internet Explorer 6/7/8 です。
- ・表示可能言語は英語のみです。
- ・コンピューターからプロジェクターにアクセスする際、ブラウザの設定が「プロキシサーバーを使用する」になっている場合は、チェックマークをクリックし、プロキシサーバーを使用しない設定にしてください。

## ウェブブラウザでプロジェクターのコントロール画面を開く

### 1 LAN ケーブルをつなぐ。



### 2 プロジェクターのネットワーク設定を行う。

「初期設定」の「ネットワーク設定」でプロジェクターのネットワーク設定を行ってください。（32 ページ）。

### 3 ウェブブラウザを起動し、アドレス欄に以下を入力し <ENTER> キーを押す。

http://xxx.xxx.xxx.xxx  
(xxx.xxx.xxx.xxx : プロジェクターの IP アドレス)

プロジェクターのIPアドレスは、「初期設定」の「ネットワーク設定」で確認できます。  
ブラウザに以下のようなコントロール画面が表示されます。

一度ネットワーク設定を行えば、次回からは手順3の操作だけでコントロール画面を表示できます。

## コントロール画面の操作方法

### ページを切り換える

ページ切換えボタンをクリックして、設定したいページを表示してください。

ページ切換えボタン

## プロジェクターの状態を確認する

Information ページを開くと、プロジェクターの現在の状態を確認できます。

情報エリア

## プロジェクターを操作する

Control ページからプロジェクターを操作します。

操作エリア

各ボタンの働きは、リモコンのボタンと同じになります。

## 設定する

### ネットワークパスワードの設定

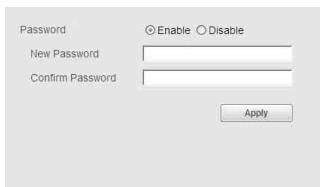
Network ページを選択すると、ログイン画面が表示されます。

お買い上げ時は、パスワードは設定されていません。ユーザー名は「root」に固定されています。ログインが終了したら、必要な情報を設定します。

### パスワードを変更する

**Enable**：選択すると新しいパスワードを設定できます。最大入力文字数は15です。

**Disable**：選択すると、パスワードは設定できません。

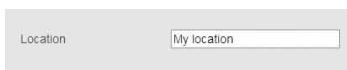


### ご注意

パスワードを忘れた時は、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。

## ロケーションの設定

**Location**：プロジェクターの設置場所を入力します。



## メールレポート機能を利用する

Mail Report ページを選択し、機能を設定します。このページで入力した値は、Apply ボタンを押すまで適用されません。

### 1 メールレポート機能を設定する。

**Enable**：選択するとメールレポート機能が有効になります。

**Disable**：選択すると、メールレポート機能が無効になります。



### 2 送信先メールアドレスを入力する。

Send To に送信先のメールアドレスを入力し、発行するメールレポートの Report Timing チェックボックスにチェックします。

CC にメールアドレスを入力することで、複数のあて先に送信できます。

### 3 メールレポートのタイミングを設定する。

Report Timing を設定します。

**Over Lamp Usage Time**：ランプの交換時期がきたことを通知したいときにチェックします。

**Error**：エラーが発生したときに通知したいときにチェックします。

### 4 メールレポートを送信するためのメールアカウントを設定する。

**User Name**：割り当てられた

User Name を入力します。最大入力文字数は 64 文字です。

**Password**：メールパスワードを入力します。

**SMTP Server**：送信メールサーバー (SMTP) のアドレスを入力します。最大入力文字数は 64 文字です。

### 5 テストメールを送信する。

チェックボックスにチェックを入れて Apply ボタンを押すと、設定した送信先アドレスにテストメールが送信されます。

### ご注意

- ・ Outbound Port25 Blocking を行っているネットワークでは SMTP サーバーには接続できないためメールレポート機能を使用することはできません。
- ・ 文字列が入力できるボックスに「'」「"」「&」「<」「>」の 5 文字は使用できません。

## インジケーターの見かた

インジケーターの点灯により、本機の状態や異常の発生を確認することができます。異常が発生している場合は、表に従い対処してください。

### ON/STANDBY インジケーター

状況	意味／対処のしかた
赤色に点灯	スタンバイ状態です。
緑色に点滅	本体に電源が入り、操作可能になるまでの間、または電源を切ったあと、冷却している状態です。
緑色に点灯	電源が入っている状態です。
オレンジ色に点灯	オートパワーセービング（ランプオフ）状態です（31ページ）。
赤色に点滅	異常な状態です。点滅回数により症状が異なります。以下の内容に従って対処してください。また、以下の対処を行っても症状が再発する場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
2回点滅	内部温度が高温になっています。以下を確認してください。 ・排気口、吸気口が壁や物などでふさがれていないか。 ・エアーフィルターがつまっているか（3ページ、49ページ）。
6回点滅	電源コードを抜き、ON/STANDBY インジケーターが消えるのを確認してからもう一度電源コードをコンセントに差し込み、電源を入れてください。それでも解決しない場合はソニーの修理窓口にご相談ください。
その他の点滅回数	ソニーの修理窓口にご相談ください。

### LAMP/COVER インジケーター

状況	意味／対処のしかた
赤色に点滅	点滅回数により症状が異なります。以下の内容に従って対処してください。
2回点滅	ランプカバー、エアーフィルターカバーが確実に取り付けられていません（47ページ、49ページ）。

状況	意味／対処のしかた
3回点滅	<p>ランプが高温になっています。電源を切り、ランプが冷えてからもう一度電源を入れてください。</p> <p>症状が再発する場合は、再度電源を切り、ランプを取り出して（47ページ）、ランプが割れていないか確認してください。</p> <p>割れていないときはランプを再度取り付けて、もう一度電源を入れてください。</p> <p>症状が再発する場合はランプの消耗が考えられます。新しいランプに交換してください（47ページ）。</p> <p>割れているときはご自分でランプ交換を行わず、ソニーの相談窓口にご相談ください。</p>

# メッセージ一覧

画面に次のようなメッセージが表示されたら、表に従い対処してください。

メッセージ	意味／対処のしかた	ページ
セット内部温度が高いです。	以下を確認してください。	3、49
1分後にランプオフします。	・排気口、吸気口がふさがれていなか。 ・エアーフィルターがつまっているか。	
入力信号の周波数が対応範囲をこえています！	接続先の機器の外部出力設定を本機が対応している信号に変更してください。	54
入力 A 信号種別の設定を確認してください。	「入力 A 信号種別」をオート、または入力されている信号に合わせて設定してください。	31
ランプを交換し、フィルターを掃除してください。	ランプを交換し、エアーフィルターを掃除してください。 メッセージは、ランプを交換してランプタイマーを初期化するまで、起動時に毎回表示されます。	47、49
無効キーが押されました。	無効なボタンが押されました。	—
パネルキーロック中です！	パネルキーロックが設定されています。	32

# 故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店またはソニーの修理窓口にご相談ください。

症状	対処のしかた	ページ
電源が入らない	電源コードがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	-
	「パネルキーロック」が「入」になっていると、本体の <b>I/Off</b> ボタンで電源を入れることができません。	32
	ランプまたはランプカバーが確実に取り付けられていないと電源が入りません。	47
映像が映らない	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。	-
	コンピューターの出力設定が外部モニター出力になっていることを確認してください。	13
	ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が outputされるように、コンピューターを設定してください。	
	入力が正しく選択されていることを確認してください。	13
	BLANK キーにより、映像消去されていないことを確認してください。	6
画面表示が出ない	「画面表示」が「切」になっていると表示されません。	33
アスペクト（画面の縦横比）がおかしい／画面が小さく表示される／映像の一部が表示されない	「アスペクト」を手動で設定してください。	5、27、29

症状	対処のしかた	ページ
画面が台形になって いる	投写する面に対して斜めに投写していると、画面が台形になります。この場合、キーストーン補正機能を利 用して補正することができます。	5、17、 34
	「V キーストーン」が「手動」になっていると自動的 にキーストーン補正がされません。「V キーストーン」 を「オート」に設定するか、手動で調整してくださ い。	5、17、 34
	スクリーンが傾いている場合、オート V キースト ーン補正が正しく機能しない場合があります。「V キー ストーン」を手動で調整してください。	5、17、 34
画面が暗い／明るす ぎる	「明るさ」、「コントラスト」、「ランプモード」の設定 により、画面の明るさが変わります。適切な値にな っているか確認してください。	25、34
	ランプが消耗していると画面が暗くなります。「ラン プの使用時間」を確認し、ランプを交換してくださ い。	36
	本機の周りの温度が高い場合は、本機を保護するため に輝度を抑制していることがあります。	—
画面がぼやける	フォーカスがあっていることを確認してください。	14
	レンズが結露していると画面がぼやけます。結露して しまった場合は、電源を入れたまま約 2 時間そのまま にしておいてください。	—
画面にノイズが出る	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し 込まれていることを確認してください。	8
音声が出ない	再生する機器、または外部オーディオ機器との間の接 続ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認 してください。	8
	外部オーディオ機器が正しく設定されていることを確 認してください。	—
	再生する機器との間の接続ケーブルがしっかりと差し 込まれていることを確認してください。	—
	MUTING キーにより消音されていると、音声が出ま せん。	6
	音量が最小になっていないことを確認してください。	6、25
リモコンが機能しな い	電池が正しく挿入されていることを確認してくださ い。	—
	電池が消耗していないことを確認してください。	—

症状	対処のしかた	ページ
ファンの音が気になる	以下のような場合は、ランプなどをより冷却する必要があるため、ファンの音が大きくなります。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ランプモードを「高」で使用している</li><li>・高地で使用している（高地モード：「入」）</li><li>・本機の周りの温度が高い場所で使用している</li></ul>	34
	吸気口、排気口がふさがれないと内部温度が上昇し、ファンの音が大きくなります。	3

# ランプを交換する

投写画面にメッセージが表示された場合、またはインジケーターにランプ交換のお知らせが表示された場合は、新しいランプに交換してください。(41、43 ページ)  
交換ランプは、プロジェクターランプ LMP-C280 (VPL-CX276/CW276)、  
LMP-C240 (VPL-CX236/CW256) (別売)をお使いください。

## ⚠ 警告

- ・電源を切った直後はランプが高温になっているため、触るとやけどの原因となります。ランプを充分に冷やすため、本機の電源を切ったあと

### 1 時間以上たってからランプを交換してください。

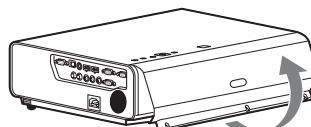
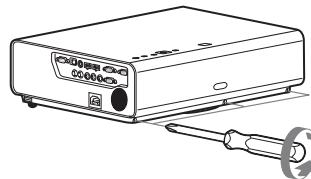
- ・ランプをはずしたあとのランプ収納部に、金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。また、やけどの危険がありますので手を入れないでください。

## ⚠ 注意

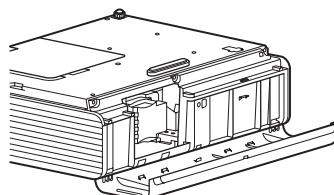
- ・ランプが破損している場合は、ご自分でランプ交換を行わず、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- ・ランプを取り出すときは、必ず指定された場所を持ち、ランプを傾げずに水平にしたまま取り出してください。指定された場所以外の部分に触れるのがやけどの原因となることがあります。また、ランプを傾げると、万一ランプが破損している場合に破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

### 1 電源を切り、電源コードを抜く。

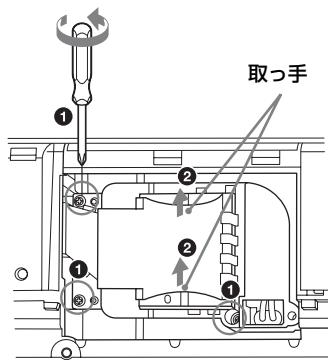
### 2 ランプが十分冷えてから、ランプカバーのネジ（3 本）をゆるめ、ランプカバーを開く。



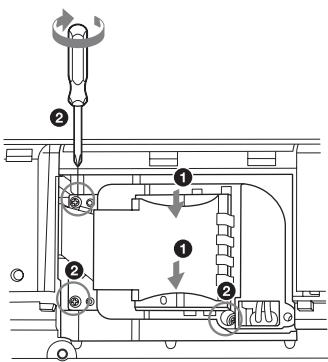
天井設置の状態のときはこのようにランプカバーを一時的に保持しておくことができます。固定されていないのでランプカバーの落下に注意してください。ランプカバーを開いた状態で、ランプカバーに強い力をかけないでください。



3 ランプのネジ（3本）をゆるめ  
（①）、取っ手を持ってランプを取り出す（②）。



4 新しいランプを確実に奥まで押し込み（①）、ネジ（3本）を締める（②）。



#### ご注意

ランプやランプカバーが確実に装着されていないと、電源が入りません。

5 ランプカバーを閉じ、ネジ（3本）を締める。

6 電源コードを電源コンセントに差し込み、電源を入れる。

7 ランプタイマーの初期化を行う。

次回の交換時期をお知らせするため、ランプタイマーを初期化します。初期設定メニューから「ランプタイマー初期化」を選び、ENTERボタンを押すとメッセージが表示されます。「はい」を選ぶとランプタイマーを初期化します。（32ページ）

# エアーフィルターを掃除する

投写画面にメッセージが表示された場合、エアーフィルターを掃除してください。  
(43 ページ)

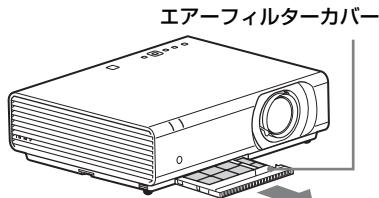
エアーフィルターを掃除しても汚れが落ちないときは、新しいエアーフィルターに交換してください。新しいエアーフィルターについては、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

## ⚠ 注意

メッセージが表示された後に、そのまま使用し続けると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

**1 電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。**

**2 エアーフィルターカバーを引き出す。**

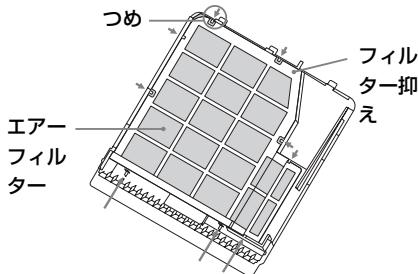


### ご注意

電源を切らず、電源コードをコンセントから抜かない状態でエアーフィルターカバーを外すと内部のファンに触れてけがの原因となることがあります。

**3 掃除機でエアーフィルターを掃除する。**

フィルター抑えを取り外し、エアーフィルターを取り外す



エアーフィルターは2枚重ねです。

上面:黒色



下面:灰色



**4 エアーフィルターカバーを元に戻す。**

### ご注意

エアーフィルターカバーはしっかりと取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、故障の原因となります。

# 仕様

項目	項目説明
型名	VPL-CX236/CX276/CW256/CW276
投写方式	3LCD 方式
表示素子	有効表示サイズ VPL-CX236 : 0.63 型 (16.0 mm)、3 枚、アスペクト比 4 : 3 VPL-CX276 : 0.79 型 (20.1 mm)、3 枚、アスペクト比 4 : 3 VPL-CW256/CW276 : 0.75 型 (19.1 mm)、3 枚、アスペクト比 16 : 10
有効画素数	VPL-CX236/CX276 : 2,359,296 画素 (1024 × 768 ピクセル、3 枚) VPL-CW256/CW276 : 3,072,000 画素 (1280 × 800 ピクセル、3 枚)
投写レンズ	フォーカス調整 手動 ズーム調整 手動
光源	VPL-CX236/CW256 : 245 W 型 VPL-CX276/CW276 : 280 W 型
画面サイズ	40 ~ 300 型 (1.02 ~ 7.62 m)
有効光束 (明るさ) <sup>1</sup>	VPL-CX236 : 4100 lm VPL-CW256 : 4500 lm VPL-CX276 : 5200 lm VPL-CW276 : 5100 lm (ランプモード : 高)
スピーカー	10 W × 1 (モノラル)
対応走査周波数 <sup>2</sup>	水平 : 19 ~ 92 kHz、垂直 : 48 ~ 92 Hz
表示可能解像度	コンピューター 信号入力時 最大入力解像度 : 1600 × 1200 ピクセル (リサイクリング表示) パネル表示解像度 : VPL-CX236/CX276 : 1024 × 768 ピクセル VPL-CW256/CW276 : 1280 × 800 ピクセル
ビデオ信号入力 時	NTSC、PAL、SECAM、480/60i、576/50i、480/60p、576/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i
カラー方式	NTSC <sub>3.58</sub> 、PAL、SECAM、NTSC <sub>4.43</sub> 、PAL-M、PAL-N、PAL60

項目	項目説明
型名	VPL-CX236/CX276/CW256/CW276
コンピューター／入力 A ビデオ入出力	<b>RGB/Y Pb Pr 入力端子</b> ：ミニ D-sub 15 ピン凹、同期付 G/Y 信号：1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、RGB 信号 / Pb Pr 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：TTL レベル ハイインピーダンス、正負極性 <b>音声入力端子</b> ：ステレオミニジャック、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上
入力 B	<b>RGB 入力端子</b> ：ミニ D-sub 15 ピン凹、RGB 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：TTL レベル ハイインピーダンス、正負極性 <b>音声入力端子</b> ：ステレオミニジャック、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上
入力 C	<b>HDMI 入力端子</b> ：HDMI 19 ピン、HDCP、 <b>音声入力端子</b> ：HDMI Audio 対応
入力 D	<b>HDMI 入力端子</b> ：HDMI 19 ピン、HDCP、 <b>音声入力端子</b> ：HDMI Audio 対応
ビデオ入力	<b>ビデオ入力端子</b> ：ピンジャック、1 Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端 <b>音声入力端子</b> ：ステレオミニジャック、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上
出力	<b>モニター出力端子</b> ：ミニ D-sub 15 ピン凹、同期付 G/Y 信号：1Vp-p ± 2 dB、同期負、75 Ω 終端、RGB 信号 / Pb Pr 信号：0.7 Vp-p ± 2 dB、75 Ω 終端、同期信号：HD、VD 4 V (オープン)、1 Vp-p (75 Ω)、正負極性 <b>音声出力端子</b> ：ステレオミニジャック、ステレオ、1 Vrms (ボリューム最大、500 mVrms 入力時)、出力インピーダンス 5 kΩ
その他の端子	<b>RS-232C 端子</b> ：D-Sub 9 ピン 凸 <b>LAN 端子</b> ：RJ45、10BASE-T/100BASE-TX
使用温度 (使用湿度)	0 ~ 40 °C (20 ~ 80% (結露なきこと))
保存温度 (保存湿度)	- 10 ~ +60 °C (20 ~ 80% (結露なきこと))
電源	VPL-CX236/CW256 : AC 100 V、3.5 A、50/60 Hz VPL-CX276/CW276 : AC 100 V、4.0 A、50/60 Hz

項目	項目説明
型名	VPL-CX236/CX276/CW256/CW276
消費電力	VPL-CX236 : 350 W VPL-CW256 : 346 W VPL-CX276 : 389 W VPL-CW276 : 395 W
待機電力 (スタンバイモード)	0.5 W(スタンバイモード「低」時)
待機電力 (ネットワークスタンバイモード)	3 W (LAN) (スタンバイモード「標準」時)
発熱量	VPL-CX236 : 1194 BTU/h VPL-CW256 : 1180 BTU/h VPL-CX276 : 1327 BTU/h VPL-CW276 : 1348 BTU/h
標準外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約 406 × 122.3 × 330.5 mm 約 406 × 113 × 330.5 mm (突起部含まず)
質量	VPL-CX236/CW256 : 約 5.6 kg VPL-CX276/CW276 : 約 5.7 kg
付属品	簡易説明書の「付属品を確かめる」をご覧ください。
別売りアクセサリー <sup>*3</sup>	<b>プロジェクターランプ</b> LMP-C240 (VPL-CX236/CW256 交換用) LMP-C280 (VPL-CX276/CW276 交換用)

### ご注意

\*1 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式にのっとって記載しています。測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

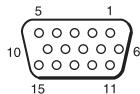
\*2 詳細は、対応信号表をご覧ください (54 ページ)。

\*3 ここに記載されている別売りアクセサリーは、2016 年 11 月現在のものです。

本機 (別売アクセサリーを含む) の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。

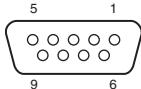
## ピン配列

RGB 入力端子 (ミニ D-sub 15 ピン、凹)



1	映像入力 (赤) R	9	DDC 用 電源入力
2	映像入力 (緑) G	10	接地
3	映像入力 (青) B	11	接地
4	接地	12	DDC/SDA
5	RESERVE	13	水平同期信号
6	接地 (赤用)	14	垂直同期信号
7	接地 (緑用)	15	DDC/SCL
8	接地 (青用)		

RS-232C 端子 (D-Sub 9 ピン、凸)



1	NC	6	NC
2	RXDA	7	RTS
3	TXDA	8	CTS
4	DTR	9	NC
5	GND		

## 対応信号一覧

### コンピュータ信号

解像度	fH [kHz]/ fV [Hz]	入力端子	
		RGB	HDMI
640 × 350	31.5/70	●	
	37.9/85	●	
640 × 400	24.8/56	●	
	31.5/70	●	
640 × 480	37.9/85	●	
	31.5/60	●	●
	35.0/67	●	
	37.9/73	●	
	37.5/75	●	
	43.3/85	●	
	800 × 600		
	35.2/56	●	
	37.9/60	●	●
	48.1/72	●	
	46.9/75	●	
	53.7/85	●	
832 × 624	49.7/75	●	
1024 × 768	48.4/60	●	●
	56.5/70	●	
	60.0/75	●	
	68.7/85	●	
1152 × 864	64.0/70	●	
	67.5/75	●	
	77.5/85	●	
1152 × 900	61.8/66	●	
1280 × 960	60.0/60	●	●
	75.0/75	●	
1280 × 1024	64.0/60	●	●
	80.0/75	●	
	91.1/85	●	
1400 × 1050	65.3/60	●	●
1280 × 768	47.8/60	●	●
1280 × 720	44.8/60	●	●
1366 × 768	47.7/60	●	●

解像度	fH [kHz]/ fV [Hz]	入力端子	
		RGB	HDMI
1440 × 900	55.9/60	●	●
1280 × 800	49.7/60	●	●
1600 × 1200	75/60	●	
1920 × 1200	74.0/59.95	●	

### ビデオ信号

信号名	fV [Hz]	入力端子		
		VIDEO	RGB/ YPbPr	HDMI
NTSC	60	●	-	-
PAL/ SECAM	50	●	-	-
480i	60	-	●	●
576i	50	-	●	●
480p	60	-	●	●
576p	50	-	●	●
1080i	60	-	●	●
1080i	50	-	●	●
720p	60	-	●	●
720p	50	-	●	●

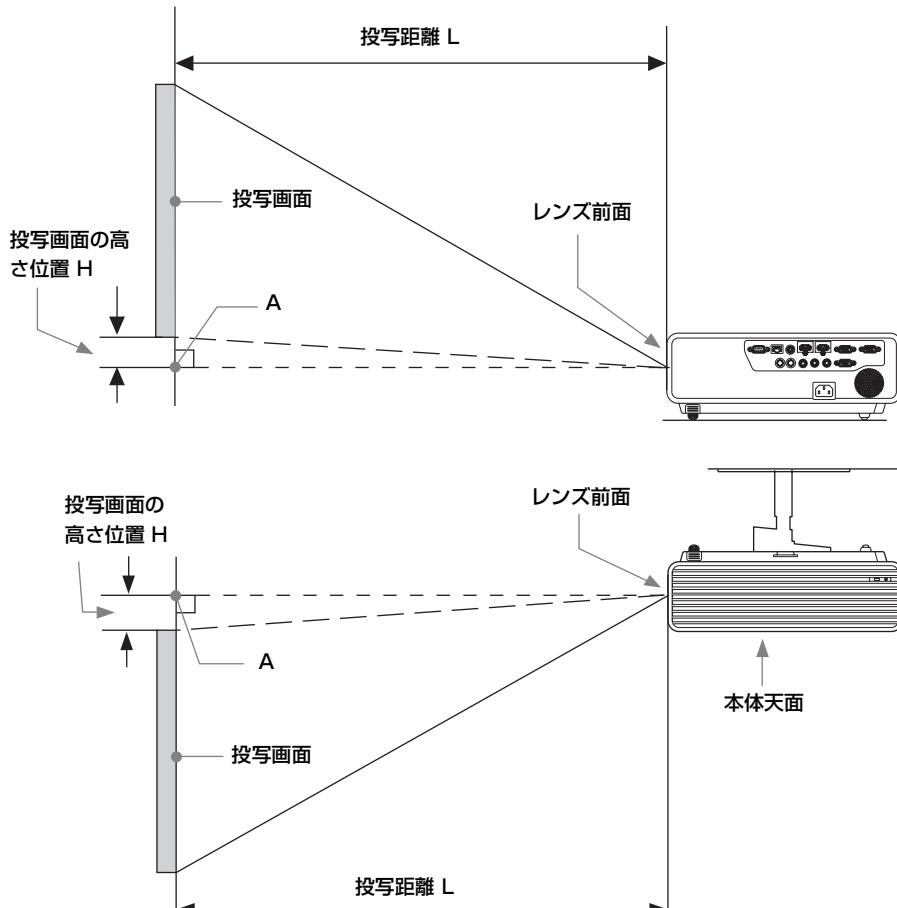
### ご注意

- 表に記載されていない信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。
- パネル表示解像度と異なる入力信号では、入力信号そのままの解像度での表示はされず、文字や罫線の太さなどが不均一となる場合があります。

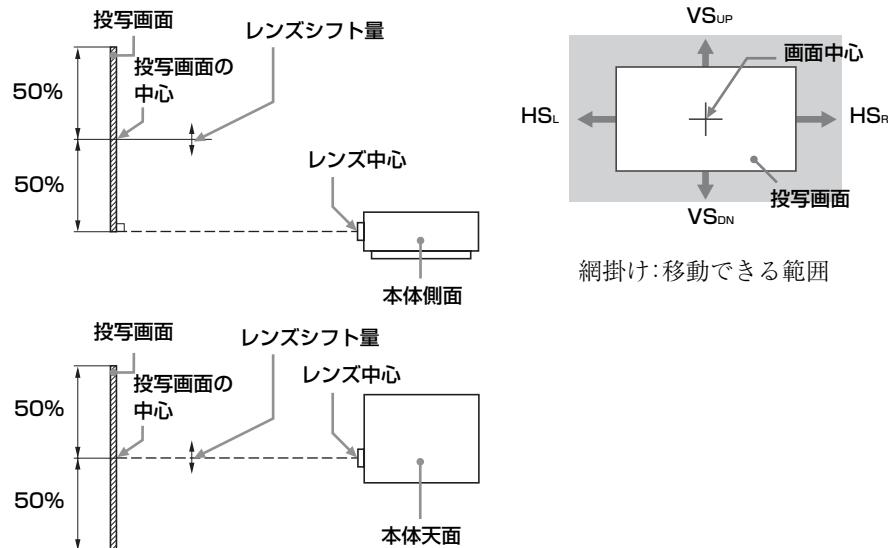
# 投写距離とレンズシフト量

投写する画面のサイズごとの投写距離と投写画面の高さ位置を示します。投写距離は、レンズ前面から投写面までの距離です。投写画面の高さは、レンズ中心から投写する面に対して垂直に引いた線と投写する面が交差する位置（図中 A）から投写画面の下端（天井設置時は上端）までの距離です。本機種の場合、床置き設置時と天井設置時の投写距離表の値は同じです。

床置き設置時 / 天井設置時（本体天面が天井と平行になるように設置）



レンズシフト量は初期投写位置からどれくらい動かせるかを投写画面の「全高」または「全幅」を100%とし、その距離をパーセントで表します。



VS<sub>UP</sub> : 垂直レンズシフト量（上）[%]

VS<sub>DN</sub> : 垂直レンズシフト量（下）[%]

HS<sub>R</sub> : 水平レンズシフト量（右）[%]

HS<sub>L</sub> : 水平レンズシフト量（左）[%]

## 投写距離表 / 投写距離計算式

### 投写距離表 (VPL-CX236)

単位 : m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H	
対角 D	横×縦		投写距離 L (最短)	投写距離 L (最長)
80型 (2.03m)	1.63 × 1.22	2.65 – 3.88	0.03	0.03
100型 (2.54m)	2.03 × 1.52	3.33 – 4.86	0.04	0.04
120型 (3.05m)	2.44 × 1.83	4.00 – 5.84	0.05	0.05
150型 (3.81m)	3.05 × 2.29	5.01 – 7.32	0.06	0.06
200型 (5.08m)	4.06 × 3.05	6.70 – 9.77	0.08	0.08

### 投写距離計算式 (VPL-CX236)

D : 投写画面サイズ（対角）

H : レンズ中心からスクリーン下端までの高さ

計算式 1

単位 : m

投写距離 L( 最短 )	投写距離 L( 最長 )
$L=0.033708 \times D - 0.0490$	$L=0.049125 \times D - 0.0482$

計算式 2

投写画面の高さ位置 H	
投写距離 L( 最短 )	投写距離 L( 最長 )
$H=0.00038 \times D + 0.00000$	$H=0.00038 \times D + 0.00000$

## 投写距離表 (VPL-CW256)

単位 : m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H	
対角 D	横×縦		投写距離 L ( 最短 )	投写距離 L ( 最長 )
80 型 (2.03m)	$1.72 \times 1.08$	2.22 – 3.25	0.00	0.00
100 型 (2.54m)	$2.15 \times 1.35$	2.79 – 4.08	0.00	0.00
120 型 (3.05m)	$2.58 \times 1.62$	3.36 – 4.91	0.00	0.00
150 型 (3.81m)	$3.23 \times 2.02$	4.21 – 6.15	0.00	0.00
200 型 (5.08m)	$4.31 \times 2.69$	5.63 – 8.21	0.00	0.00

## 投写距離計算式 (VPL-CW256)

D : 投写画面サイズ (対角)

H : レンズ中心からスクリーン下端までの高さ

その他の

計算式 1

単位 : m

投写距離 L( 最短 )	投写距離 L( 最長 )
$L=0.028357 \times D - 0.0490$	$L=0.041327 \times D - 0.0482$

計算式 2

投写画面の高さ位置 H	
投写距離 L( 最短 )	投写距離 L( 最長 )
$H=0.00000 \times D + 0.00000$	$H=0.00000 \times D + 0.00000$

## 投写距離表 / 投写距離計算式

### 投写距離表 (VPL-CX276)

単位 : m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H
対角 D	横×縦		
80型 (2.03m)	1.63 × 1.22	2.12 – 3.10	-0.13
100型 (2.54m)	2.03 × 1.52	2.66 – 3.88	-0.17
120型 (3.05m)	2.44 × 1.83	3.20 – 4.67	-0.20
150型 (3.81m)	3.05 × 2.29	4.01 – 5.85	-0.25
200型 (5.08m)	4.06 × 3.05	5.36 – 7.82	-0.33

### 投写距離計算式 (VPL-CX276)

D : 投写画面サイズ (対角)

H : レンズ中心からスクリーン下端までの高さ

#### 計算式 1

単位 : m

投写距離 L(最短)	投写距離 L(最長)
$L = 0.027010 \times D - 0.0490$	$L = 0.039363 \times D - 0.0482$

#### 計算式 2

投写画面の高さ位置 H
$H = -0.00165 \times D + 0.00000$

### 投写距離表 (VPL-CW276)

単位 : m

画面サイズ		投写距離 L	投写画面の高さ位置 H
対角 D	横×縦		
80型 (2.03m)	1.72 × 1.08	2.22 – 3.25	0.00
100型 (2.54m)	2.15 × 1.35	2.79 – 4.08	0.00
120型 (3.05m)	2.58 × 1.62	3.36 – 4.91	0.00
150型 (3.81m)	3.23 × 2.02	4.21 – 6.15	0.00
200型 (5.08m)	4.31 × 2.69	5.63 – 8.21	0.00

## 投写距離計算式 (VPL-CW276)

D : 投写画面サイズ (対角)

H : レンズ中心からスクリーン下端までの高さ

計算式 1

単位 : m

投写距離 L( 最短 )	投写距離 L( 最長 )
$L=0.028357 \times D - 0.0490$	$L=0.041327 \times D - 0.0482$

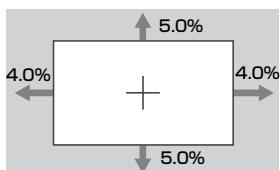
計算式 2

投写画面の高さ位置 H
$H=0.00000 \times D + 0.00000$

---

## レンズシフト量

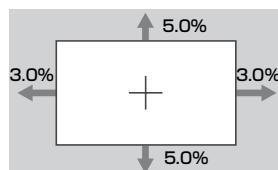
VPL-CX236



$$VS_{UP}=VS_{DN}=5.0\%[ ]$$

$$HS_R=HS_L=4.0\%[ ]$$

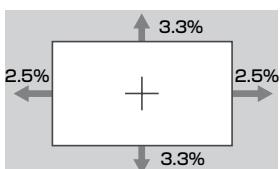
VPL-CW256



$$VS_{UP}=VS_{DN}=5.0\%[ ]$$

$$HS_R=HS_L=3.0\%[ ]$$

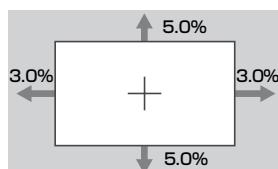
VPL-CX276



$$VS_{UP}=VS_{DN}=3.3\%[ ]$$

$$HS_R=HS_L=2.5\%[ ]$$

VPL-CW276

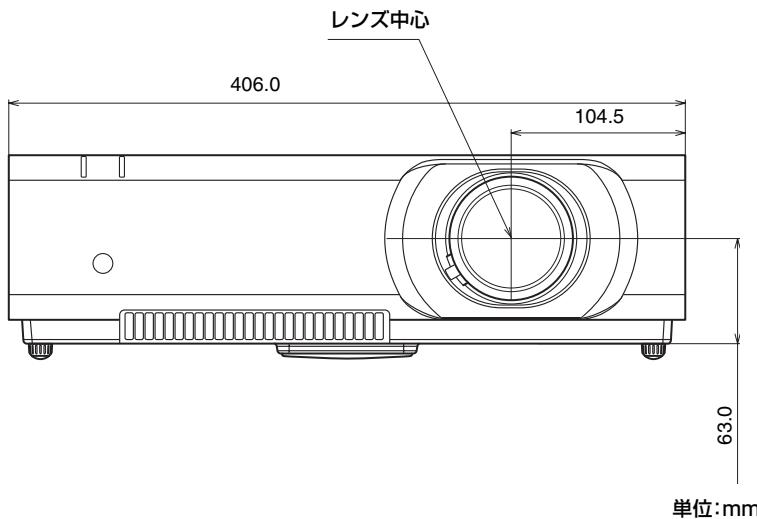


$$VS_{UP}=VS_{DN}=5.0\%[ ]$$

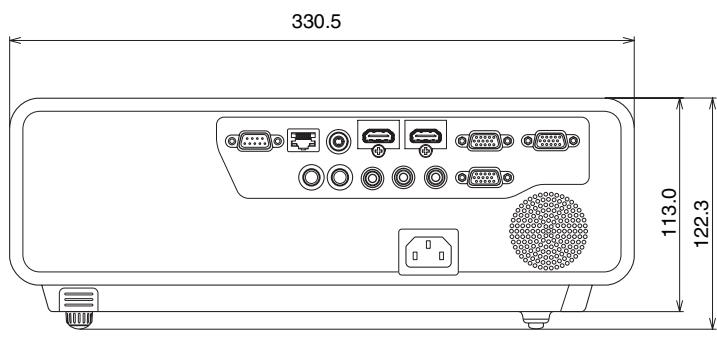
$$HS_R=HS_L=3.0\%[ ]$$

# 寸法図

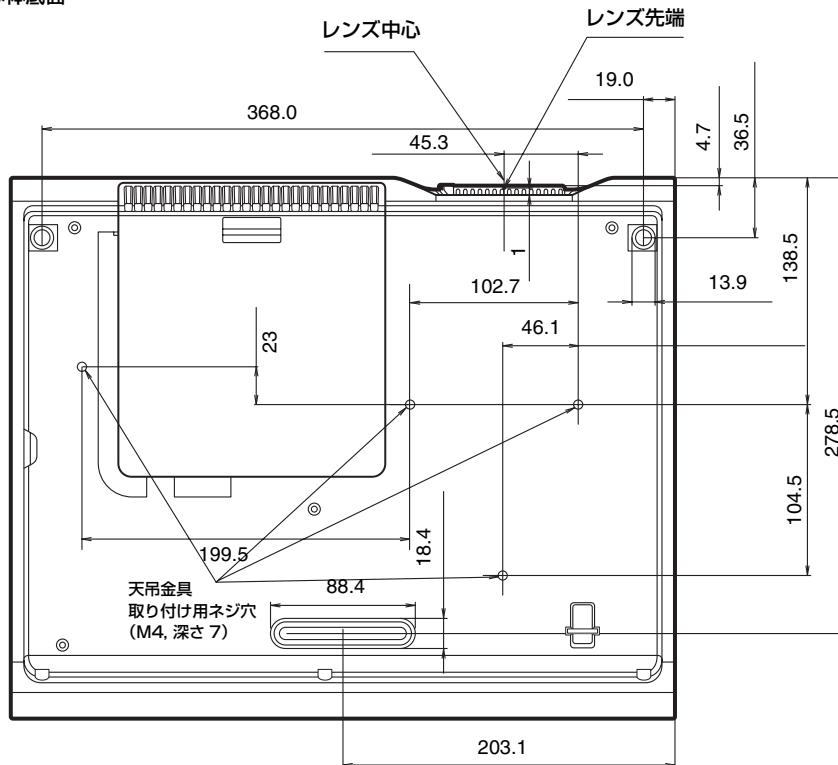
本体前面



本体側面



本体底面



# 保証書とアフターサービス

## 保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

## アフターサービス

**調子が悪いときはまずチェックを →**  
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかお調べください。

**それでも具合の悪いときは → お買い上げ店またはソニーの修理窓口にご相談ください。**

**保証期間中の修理は →** 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

**保証期間経過後の修理は →** 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

# 索引

## あ

明るさ	25
アスペクト	5, 27, 29
色あい	25
色温度	25
色の濃さ	25
エアーフィルターカバー／吸気口	3
エアーフィルターを掃除する	49
映像消去	6
映像を投写する	13
エコ モード	6
オート入力サーチ	31
オーバースキャン	27
音量	6

## か

外部制御	35
外部モニター、オーディオ機器との接続	12
各部の名前と働き	3
画質設定	25
画質モード	25
画像反転	34
画面表示	33
カラー方式	31
ガンマモード	25
高地モード	34
故障かな？と思ったら	44
コントラスト	25
コントロール画面	37
コンピューターとの接続	8

## さ

サブネットマスク	32
シフト	27
シャープネス	25
出力	5
仕様	50
消音	6
情報	36
初期設定	31
シリアル No.	36

信号設定	27
信号の種類	36
信号無変化時設定	31
垂直周波数	36
水平サイズ	27
水平周波数	36
ズームレバー	3
スタートアップイメージ	33
スタンバイモード	35
スマート APA	31
セカンダリ DNS	32
セキュリティロック	35
接続端子	4
接続端子部	3
設置設定	34
前脚部（調整可）	3, 16

## た

対応信号一覧	54
台形補正	5, 17
ダイレクトパワーオン	35
デジタルズーム	6
デフォルトゲートウェイ	32
電源コンセント	5
電源を入れる	5, 13
電源を切る	5, 21
投写距離	55
盗難防止用バー	4
盗難防止ロック	3
ドットフェーズ	27

## な

入力	4
入力 A 信号種別	31
入力信号調整	27
入力を切り換える	5
ネットワーク機能を利用する	37
ネットワーク設定	32

## は

排気口	3
パネルキーロック	32
ビデオ機器との接続	9
表示言語	33
ピン配列	53

フォーカス	14
フォーカスリング	3
フリーズ	6
別売りアクセサリー	52
保証書とアフターサービス	62
本体	3
本体ボタン	5

## ま

無信号時設定	31
無信号入力時背景	34
メールレポート	39
メッセージ一覧	43
メニュー設定	33
メニューの操作のしかた	23
モデル名	36

## ら

ランプカバー	3
ランプ使用時間	36
ランプタイマー初期化	32
ランプモード	34
ランプを交換する	47
リモコン	5
リモコン受光部	3, 31
レンズシフトカバー	4, 15
レンズシフト調整	15

## わ

ワープ補正	18, 34
-------	--------

## A

APA	5
-----	---

## C

CC ディスプレイ	31, 32
-----------	--------

## D

DDE	25
DNS サーバアドレス	32

## I

IP アドレス	36
IP アドレス設定	32

## L

LAMP/COVER インジケーター	3, 41
LAN 端子	5

## O

ON/STANDBY インジケーター	3, 41
--------------------	-------

## R

RS-232C 端子	5
------------	---

## 商標について

- Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- Kensington は Kensington 社の登録商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Internet Explorer は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- PJLink は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。
- AMX は、AMX Corporation の商標です。
- その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では<sup>TM</sup>、<sup>®</sup>マークは明記していません。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.jp/professional/support/>